

平成 28 年 8 月 3 日

平成 28 年度 2016-17 シーズン  
ワールドカップ (ネーションカップ) 世界選手権派遣 選考プロセス  
公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

### 基本方針

連盟の定める行動規範を遵守し、日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟を代表するに相応しい選手をもって、国際大会でメダル獲得を目指すための編成を行う選考とする。

### 選考手続

2016-17 シーズン ワールドカップ (ネーションカップ) 世界選手権派遣 (以下「WC (NC) WM 派遣」という。) への派遣選手は、以下に定める選考方法に基づき公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 競技委員会が選考し、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て決定されるものとする。

### 前期海外遠征 (シニア選手) 選考方法

選考① 平成 27 年度シーズンの海外での国際大会の成績を A B C 評価に区分

選考② I 平成 28 年度コントロールテスト結果 (H 28 年 8 月上旬実施) をポイント化 (別紙 JOC 強化指定選手、WC (NC) WM 派遣、私的海外遠征に関する基準 及び  
ポイント得点表 参照)

II 平成 27 年度シーズン 対象競技会の公式練習、大会結果の滑走タイムをポイント化 (別紙 JOC 強化指定選手、WC (NC) WM 派遣、私的海外遠征に関する基準 及び  
ポイント得点表 参照)

III 平成 27 年度シーズン 対象競技会の公式練習、大会結果のスタートタイムをポイント化 (別紙 JOC 強化指定選手、WC (NC) WM 派遣、私的海外遠征に関する基準  
及び  
ポイント得点表 参照)

選考②の I、II、III のポイントの合計ポイントを C D 評価に区分

## 選考方法

- 1) 全ての選考において、同率の評価があった場合は以下の順に優位と判断する。  
選考1 世界選手権 > ワールドカップ  
選考2 滑走タイム > スタートタイム > コントロールテスト
  - 2) コントロールテストの実施種目の中で0点の種目が有る者は、選考から除外する。ただし傷病等の影響により、実施出来なかった場合はこの限りでは無いものとする。
  - 3) やむをえない理由やトラックコンディションの影響などにより、正当な判断が出来ないとリ्यूージュ強化部が判断した場合は、前年度までの点数とタイムも参考とし総合的に評価する。
- ※選考①を上位選考とし、①に該当しない選手を選考②の選考方法で選考する。

## 後期海外遠征（シニア選手）選考方法

**選考① 平成28年度前期海外遠征での国際大会の成績をABC評価に区分**

**選考② I 平成28年度コントロールテスト結果（H28年8月上旬実施）をポイント化**  
（別紙 JOC 強化指定選手、WC(NC)WM 派遣、私的海外遠征に関する基準 及び ポイント得点表 参照）

**II 平成28年度シーズン 対象競技会の公式練習、大会結果の滑走タイムをポイント化**（別紙 JOC 強化指定選手、WC(NC)WM 派遣、私的海外遠征に関する基準 及び ポイント得点表 参照）

**III 平成28年度シーズン 対象競技会の公式練習、大会結果のスタートタイムをポイント化**（別紙 JOC 強化指定選手、WC(NC)WM 派遣、私的海外遠征に関する基準 及び ポイント得点表 参照）

**選考②の I、II、IIIのポイントの合計ポイントをCD評価に区分**

## 選考方法

- 1) 全ての選考において、同率の評価があった場合は以下の順に優位と判断する。  
選考1 世界選手権 > ワールドカップ  
選考2 滑走タイム > スタートタイム > コントロールテスト
- 2) コントロールテストの実施種目の中で0点の種目が有る者は、選考から除外する。た

だし傷病等の影響により、実施出来なかった場合はこの限りでは無いものとする。

- 3) やむをえない理由やトラックコンディションの影響などにより、正当な判断が出来ないとリージュ強化部が判断した場合は、前年度までの点数とタイムも参考とし総合的に評価する。

※選考①を上位選考とし、①に該当しない選手を選考②の選考方法で選考する。

### ジュニア海外遠征選考方法

**選考 I 平成28年度コントロールテスト結果（H28年8月上旬実施）をポイント化**  
（別紙 JOC 強化指定選手、WC(NC)WM 派遣、私的海外遠征に関する基準 及び ポイント得点表 参照別紙 ポイント得点表 参照）

**II 平成27年度 JOC ジュニアオリンピックカップの、公式練習・大会結果の滑走タイムをポイント化**（別紙 JOC 強化指定選手、WC(NC)WM 派遣、私的海外遠征に関する基準 及び ポイント得点表 参照）

**III 平成27年度 JOC ジュニアオリンピックカップの、公式練習・大会結果のスタートタイムをポイント化**（別紙 JOC 強化指定選手、WC(NC)WM 派遣、私的海外遠征に関する基準 及び ポイント得点表 参照）

**ポイント I、II、IIIの合計ポイント250ポイント以上が派遣条件とする。**

ジュニア海外派遣選手選考において、ポイントが満たないジュニア選手でも以下の点を考慮し、リージュ強化部にて協議のうえ派遣対象とする場合がある。

- ・年齢
- ・将来性
- ・合宿や練習会への参加姿勢

ジュニアとは、平成28年10月1日から平成29年3月31日までの間に20歳以下である選手をいう。

以上

リージュ競技  
JOC 強化指定選手  
ワールドカップ（ネーションカップ）世界選手権派遣  
私的海外遠征に関する基準

対象競技会

選考時に考慮する競技会は以下の通りとする。

- ① コントロールテスト 8月上旬
  
- ② 公式練習・大会結果における滑走タイム
  - 12月開催の全日本選手権 アジア選手権
  - 12月または1月開催のJOC ジュニアオリンピックカップ
  
- ③ 公式練習・大会結果におけるスタートタイム
  - 12月開催の全日本選手権 アジア選手権
  - 12月または1月開催のJOC ジュニアオリンピックカップ
  
- ④ 国際試合成績 前年度または前半戦の海外での国際試合の順位

JOC 強化指定選手の選考基準

①コントロールテストの総合得点で650点以上を獲得した者。

②全日本選手権・アジアカップ・JOC ジュニアカップで、公式練習と試合のタイムで2本以上、下記のタイムを上回った者。

男子スタート	52秒以内
女子スタート	53秒以内
ダブルススタート	52秒以内
ジュニアスタート	60秒以内

③全日本選手権・アジアカップ・JOC ジュニアカップで、公式練習と試合のスタートタイムで2本以上、下記のタイムを上回った者。

男子スタート	3.25秒以内
女子スタート	2.92秒以内
ダブルススタート	2.87秒以内
ジュニアスタート	2.40秒以内

上記3項目の全てを満たしていることを強化指定選手の選考基準とする。

※ ①の実施種目の中で0点がある者は、選考から除外する。ただし、傷病等の影響により、実施出来なかった場合はこの限りでは無いものとする。

※ やむをえない理由やトラックコンディションの影響などにより、正当な判断が出来ないとリージュ強化部が判断した場合は、前年度までの点数とタイムも参考とし総合的に評価する。

### ワールドカップ（ネーションカップ）世界選手権派遣の選考基準

#### 選考プロセス

※ワールドカップ（ネーションカップ）世界選手権派遣の選考対象選手は強化指定選手である

※選考①を上位選考とし、選考①に該当しない選手を選考②の選考方法で選考する。

#### 選考① 国際試合成績

#### 前年度もしくは前半戦の国際試合の順位

	国際試合成績
評価 A	6 位以内
評価 B	ワールドカップまたは世界選手権 男子 15 位、女子 10 位 ダブルス 12 位以内
評価 C	ワールドカップまたは世界選手権 男子 32 位、女子 24 位 ダブルス 24 位以内

#### 選考評価

評価 A→ワールドカップ（ネーションカップ）世界選手権派遣 あり

評価 B→ワールドカップ（ネーションカップ）世界選手権派遣 あり

評価 C→ワールドカップ（ネーションカップ）世界選手権派遣 検討

評価に対して参加枠が少ない場合や、その年度の予算などにより、各評価の内容をリージュ強化部で検討した後、競技委員会の承認をもって決定する。

#### 選考② コントロールテスト、対象競技会の公式練習・大会結果

①コントロールテスト 当該年度の結果を元にポイント化

②公式練習・大会結果の滑走タイム 対象競技会の結果を元にポイント化

③公式練習・大会結果のスタートタイム 対象競技会の結果を元にポイント化

	上記①～③の合計ポイント評価
評価 C	250 ポイント以上
評価 D	249 ポイント以下

上記①～③の項目は下記に従ってポイント計算する。

①コントロールテスト 満点 1000 点 100 ポイント 650 点 10 ポイント

1000 点～900 点 -10 点毎 -1 ポイント減点

900 点～800 点 -10 点毎 -2 ポイント減点

800 点～625 点 -10 点毎 -4 ポイント減点

②公式練習・大会結果の滑走タイム（対象競技会の公式練習及び大会結果にて評価する）

男子スタート 49.2 秒以内 150 ポイント

女子スタート 50.2 秒以内

ダブルスタート 49.5 秒以内

+0.2 秒毎に-10 ポイント減点

ジュニア 男子スタート 45.5 秒以内 150 ポイント

ジュニア 女子スタート 46.0 秒以内

+0.50 秒毎に-10 ポイント減点

③公式練習・大会結果のスタートタイム（対象競技会の公式練習及び大会結果にて評価する）

男子スタート 3.15 秒以内 150 ポイント

女子スタート 2.75 秒以内

ダブルスタート 2.70 秒以内

+0.01 ごとに-10 ポイント減点

ジュニア 男子スタート 1.73 秒以内 150 ポイント

ジュニア 女子スタート 1.83 秒以内

+0.04 秒毎に-10 ポイント減点

選考評価

評価 C→ワールドカップ（ネーションカップ）世界選手権派遣 検討

評価 D→ワールドカップ（ネーションカップ）世界選手権派遣 なし

選考は、リージュ強化部で検討した後、競技委員会の承認をもって決定するものとし、選抜選手はワールドカップ出場の権利を保有する。

※ ジュニア選手の選考においては、上記ポイントに達していない場合であっても、リージュ強化部で年齢、将来性、合宿や練習会の参加姿勢などを検討し、選考する場合がある。

※ 世界選手権の参加に関しては、国際大会や国内大会の滑走状況や将来性、展望性を考えリージュ強化部で判断する。

私的遠征の派遣基準

私的遠征での国際大会の参加は原則として認めない。

私的遠征は、リージュという競技特性を考え、様々なコースでの練習を可能とすることを目的とし、JOC 強化指定選手のみを対象に国際ライセンスを発行する。

※ 遠征費用の補助は原則行わないものとする。ただし、ジュニア選手はリージュ強化部で検討のうえ、競技委員会の承認をもって補助の対象となる場合がある。

別表1

コントロールテスト		シニア男子 男子スタート		シニア女子 女子スタート		シニアダブルス 女子スタート		ジュニア男子 ジュニアスタート		ジュニア女子 ジュニアスタート	
獲得点数	ポイント	ゴールタイム	ポイント	ゴールタイム	ポイント	ゴールタイム	ポイント	ゴールタイム	ポイント	ゴールタイム	ポイント
1000	100	49.20	150	50.20	150	49.50	150	45.50	150	46.00	150
990	99	49.40	140	50.40	140	49.70	140	46.00	140	46.50	140
980	98	49.60	130	50.60	130	49.90	130	46.50	130	47.00	130
970	97	49.80	120	50.80	120	50.10	120	47.00	120	47.50	120
960	96	50.00	110	51.00	110	50.30	110	47.50	110	48.00	110
950	95	50.20	100	51.20	100	50.50	100	48.00	100	48.50	100
940	94	50.40	90	51.40	90	50.70	90	48.50	90	49.00	90
930	93	50.60	80	51.60	80	50.90	80	49.00	80	49.50	80
920	92	50.80	70	51.80	70	51.10	70	49.50	70	50.00	70
910	91	51.00	60	52.00	60	51.30	60	50.00	60	50.50	60
900	90	51.20	50	52.20	50	51.50	50	50.50	50	51.00	50
890	88	51.40	40	52.40	40	51.70	40	51.00	40	51.50	40
880	86	51.60	30	52.60	30	51.90	30	51.50	30	52.00	30
870	84	51.80	20	52.80	20	52.10	20	52.00	20	52.50	20
860	82	52.00	10	53.00	10	52.30	10	52.50	10	53.00	10
850	80	52.20	0	53.20	0	52.50	0	53.00	0	53.50	0
840	78										
830	76	スタートタイム	ポイント	スタートタイム	ポイント	スタートタイム	ポイント	スタートタイム	ポイント	スタートタイム	ポイント
820	74	3.15	150	2.75	150	2.70	150	1.73	150	1.83	150
810	72	3.16	140	2.76	140	2.71	140	1.77	140	1.87	140
800	70	3.17	130	2.77	130	2.72	130	1.81	130	1.91	130
790	66	3.18	120	2.78	120	2.73	120	1.85	120	1.95	120
780	62	3.19	110	2.79	110	2.74	110	1.89	110	1.99	110
770	58	3.20	100	2.80	100	2.75	100	1.93	100	2.03	100
760	54	3.21	90	2.81	90	2.76	90	1.97	90	2.07	90
750	50	3.22	80	2.82	80	2.77	80	2.01	80	2.11	80
740	46	3.23	70	2.83	70	2.78	70	2.05	70	2.15	70
730	42	3.24	60	2.84	60	2.79	60	2.09	60	2.19	60
720	38	3.25	50	2.85	50	2.80	50	2.13	50	2.23	50
710	34	3.26	40	2.86	40	2.81	40	2.17	40	2.27	40
700	30	3.27	30	2.87	30	2.82	30	2.21	30	2.31	30
690	26	3.28	20	2.88	20	2.83	20	2.25	20	2.35	20
680	22	3.29	10	2.89	10	2.84	10	2.29	10	2.39	10
670	18	3.30	0	2.90	0	2.85	0	2.33	0	2.43	0
660	14										
650	10										
640	6										
630	2										
625	0										

## 海外遠征の選考プロセス

※選考①を上位選考とし、選考①に該当しない選手を選考②の選考方法で選考する

ランク		ワールドカップ(ネーションカップ)世界選手権派遣 選考の基準 (以下 ワールドカップ→WC ネーションカップ→NC 世界選手権→WM とする。)		WC(NC)WM派遣の有無
		選考① 前年度の後半戦もしくは当年度の前半戦の国際試合での成績	選考② 当年度のコントロールテストと対象国内大会の公式練習及び大会結果を元にポイント化	
シニア	JOC強化指定選手	A評価	WCまたはWM6位以内	派遣対象
		B評価	WCまたはWM男子15位以内 女子10位以内 ダブルス12位以内	派遣対象
		C評価	WCまたはWM男子32位以内 女子24位以内 ダブルス24位以内	250ポイント以上 派遣検討
		D評価		250ポイント以下 私的遠征のみ
	一般登録選手			派遣なし
ジュニア	JOC強化指定選手	JOC強化指定選手、WC(NC)WM派遣、私的海外遠征に関する基準に準ずる。		

ジュニア選手は250ポイント以下でも、判断時の年齢・将来性・合宿や練習会の参加姿勢などを検討し、選考する場合がある。

コントロールテストと対象国内大会の公式練習及び大会結果のポイントについては、別紙ポイント表を

選考② シニア選手対象国内大会	全日本選手権大会の公式練習、及び大会記録にて評価し、ポイント化する。
	アジア選手権大会の公式練習、及び大会記録にて評価し、ポイント化する。
ジュニア選手対象国内大会	JOCジュニアオリンピックカップの公式練習、及び大会記録にて評価し、ポイント化する。

ポイントの詳細についてはJOC強化指定選手、WC(NC)WM派遣、私的海外遠征に関する基準に準ずる。

## 私的遠征の許可基準

ランク		私的海外遠征
シニア	JOC強化指定選手	国際ライセンスを発行し、海外での練習のみを認める。日本人コーチの帯同が条件になる。
	一般登録選手	国際ライセンスは発行しない。滑走可能なコースがあれば日本人コーチの帯同を条件として認める。
ジュニア	JOC強化指定選手	国際ライセンスを発行し、海外での練習のみを認める。日本人コーチの帯同が条件になる。

①私的海外遠征・・・JBLSFの予算が充てられた強化事業以外で費用の全てを選手個人が負担し、記載条件を満たした上で、連盟がその実施を認めたもの。

②日本人コーチ・・・JBLSFが認めた日本人コーチに限る。

## 選考の時期

前期海外遠征	当該年度のコントロールテストの結果と、前年度の国内、海外での大会成績をもって、選考基準に基づき公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 競技委員会が選考し、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て9月上旬までに決定する。
後期海外遠征	当該年度のコントロールテストの結果と、前年度の国内、海外での大会成績をもって、選考基準に基づき公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 競技委員会が選考し、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て12月下旬までに決定する。

## コントロールテスト種目

シニア種目	ジュニア種目
メディシンボール投げ	立ち幅跳び
パワークリーン	背筋
ベンチプレス	上体起こし
首(頭部に負荷をかけ、姿勢維持)	腕立て伏せ
長座体位前屈	反復横とび
懸垂	長座体位前屈
背筋	50m走
上体起こし	シャトルラン
ストレッチポールスクワット	ストレッチポールスクワット